

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分
 【発行日】平成 23 年 5 月 6 日 (2011.5.6)

【公表番号】特表 2009-531608 (P2009-531608A)
 【公表日】平成 21 年 9 月 3 日 (2009.9.3)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-035
 【出願番号】特願 2009-501835 (P2009-501835)
 【国際特許分類】

F 1 6 H 41/24 (2006.01)

F 1 6 D 41/12 (2006.01)

【F I】

F 1 6 H 41/24 A

F 1 6 D 41/12 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 22 年 3 月 1 日 (2010.3.1)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

トルクコンバータのためのステータとクラッチとを有する構成ユニットであって、ステータの第 1 の半部と第 2 の半部とを有し、第 1 と第 2 の半部とがそれぞれ第 1 もしくは第 2 の個別部体から形成されておりかつステータのための羽根が第 1 と第 2 の半部のための適当なリングの内部に配置されていることを特徴とする、構成ユニット。

【請求項 2】

さらに一方向クラッチを有し、さらに第 1 と第 2 の半部が第 1 もしくは第 2 の周方向部分を有し、該第 1 もしくは第 2 の周方向部分が一方向クラッチの 1 部を形成するように配置されている、請求項 1 記載の構成ユニット。

【請求項 3】

ボスと結合された、軸方向に移動可能な円板を有し、第 1 の内側の周方向部分が機能的に、一方向クラッチの 1 部を形成するように配置されている、請求項 1 記載の構成ユニット。

【請求項 4】

円板と第 1 の周方向部分とが内外に係止されるように該円板と該第 1 の周方向部分とが配置されている、請求項 3 記載の構成ユニット。

【請求項 5】

第 1 の内部の周方向部分が少なくとも 1 つの開口を有し、円板が少なくとも 1 つの突起を有し、該突起が少なくとも 1 つの開口に配向されている、請求項 3 記載の構成ユニット。

【請求項 6】

円板が少なくとも 1 つの開口を有し、第 1 の内部の周方向部分が少なくとも 1 つの突起を有し、該突起が前記少なくとも 1 つの開口に配向されている、請求項 3 記載の構成ユニット。

【請求項 7】

円板を軸方向で第 1 の内部の周方向部分に対して押すように配置された第 1 の押動かしエレメントを有している、請求項 3 記載の構成ユニット。

【請求項 8】

円板とボスとが第 3 の個別部体から形成されている、請求項 3 記載の構成ユニット。

【請求項 9】

円板が軸方向でボスに対し移動させられることができる、請求項 3 記載の構成ユニット。

【請求項 10】

第 1 の半部が第 1 のリング形の部分を有し、該リング形の部分がクラッチと第 1 の半部のためのリングとの間に配置され、第 2 の半部が第 2 のリング形の部分を有し、該リング形の部分がクラッチと第 2 の半部のためのリングとの間に配置されており、第 1 と第 2 のリング形の部分の少なくとも部分が互いに接触する、請求項 1 記載の構成ユニット。